

Lezioni per principianti 8

Perché non verrai alla festa ? ～様々な疑問詞と直説法未来～

簡単な日常会話を通して、イタリア語理解に必要な文法を学ぶ初級者向けの教材です。

日常生活で使える便利な表現を使い、会話にも慣れてていきましょう。

【～Perché non verrai alla festa？～】

疑問詞を使った表現をたくさん学習しましょう。
講師の指示に従い、下記会話を読んでみましょう。

★1



Il tuo amico (l'insegnante)



Tu (lo studente)

Com'è la tua nuova vita in Giappone?

日本の新しい生活はどう？

Tutto è eccitante! Mi piace Soprattutto il cibo giapponese.

楽しんでいるよ。特に、日本料理が最高さ。

Sembra fantastico! A proposito, perché non vieni alla festa domani?

楽しそうね！ところで、どうして明日のパーティーに来ないの？

Perché ho un colloquio di lavoro.

面接試験があるんだ。

Oh, bene. Spero che abbia successo.

そうだったの。うまくいくといいね！

Farò del mio meglio. Se finisco per le cinque, verrò alla festa.

Chi sarà alla festa?

頑張るよ。5時までに終わったらパーティーに行くつもりだよ。パーティーには誰が参加するのかな？

Lo spero. Marco, Miki e i loro amici verranno.

来れたらいいね。マルコ、ミキ、それと彼らの友達が来る予定よ。

【Esercitazione pratica A】

講師が今の状況を伝えます。理由や詳細を聞いてみましょう。

★2



例 :

講師 「Non posso giocare a tennis.」

あなた 「Perché non puoi giocare à tennis ?」

講師 「Perché mi sono fatto male alla gamba.」

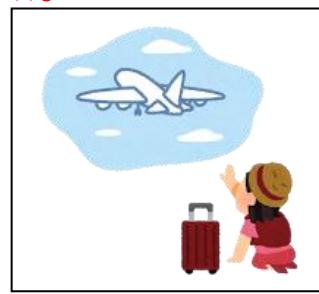
★3



★4



★5



★6



★7



★8



【Esercitazione pratica B】

★9 講師があなたの来週の予定を質問します。未来形を使って答えてみましょう。

【Esercitazione pratica C】

★10 講師があなたの次の休暇について質問します。未来形を使って答えてみましょう。



Espressione del giorno (今日のキーフレーズ)

Perché non verrai alla festa?

☞ Punti importanti (ポイント)

- ① 【come】は「どのように」を尋ねる疑問副詞です。性・数変化しません。
- ② 【perché】は理由を尋ねる疑問副詞で、「なぜ」を意味します。性・数変化しません。
また、「なぜならば」という理由を表す接続詞もあります。
- ③ 【chi】は「誰」を尋ねる疑問代名詞です。性・数変化しません。
- ④ イタリア語で単純未来を表す場合は、「直説法未来」を用い、動詞の語尾を活用させて表します。直説法未来は「indicativo futuro」と言います。
ただし、未来のことでも話し手にとって断言できる場合は現在形を用い、現在のことでも不確かなことや断言を避けたい場合には直説法未来を用います。
【Indicativo futuro】

| 主語 | -are | -ere | -ire | 不規則 |
|-------------|---------|------|---------|--------|
| io | -erò | | -irò | -rò |
| tu | -erai | | -irai | -rai |
| lui/lei/Lei | -erà | | -irà | -rà |
| noi | -eremo | | -iremo | -remo |
| voi | -erete | | -irete | -rete |
| loro | -eranno | | -iranno | -ranno |

※直説法未来の活用語尾は不規則動詞も含めてすべて-rò/-rai/-rà/-remo/-rete/-rannoとなり、-r-が入るのが特徴です。

- ⑤ 【Mi piace】は「私は～が好きです」の意味です。次のテキストでしっかり学習します。「～が私の気に入る」という構文をとり、意味上の主語は間接補語、好きなものの対象は主語になります。